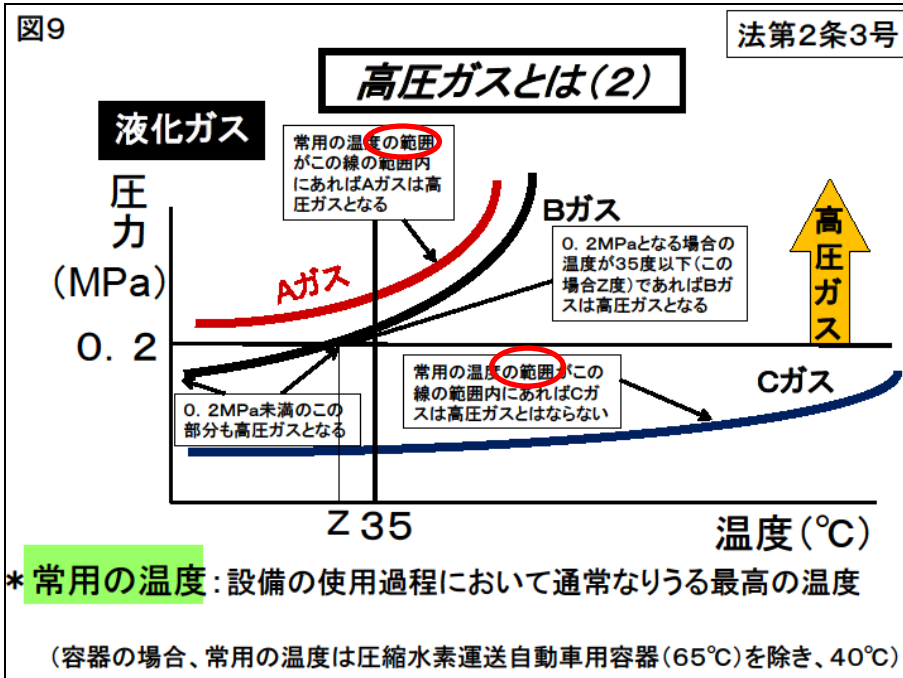
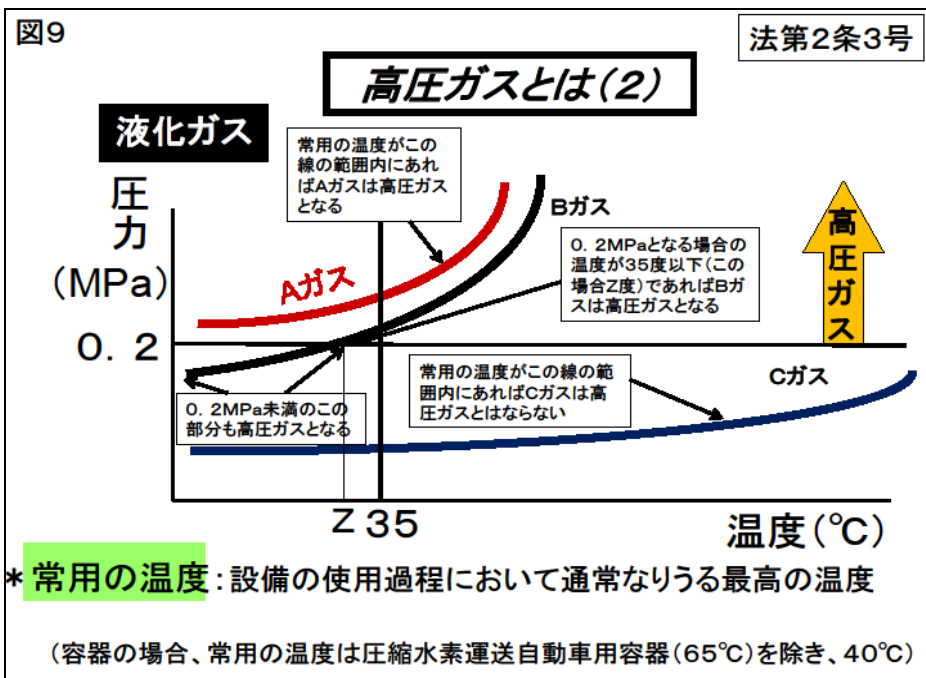


書籍名「**高压ガス保安法概要 丙種化学液石 編**」

正 誤 表

標題書籍の記載に下表右欄のような誤りがありました。お詫び申し上げますとともに、下表左欄のとおり訂正します。

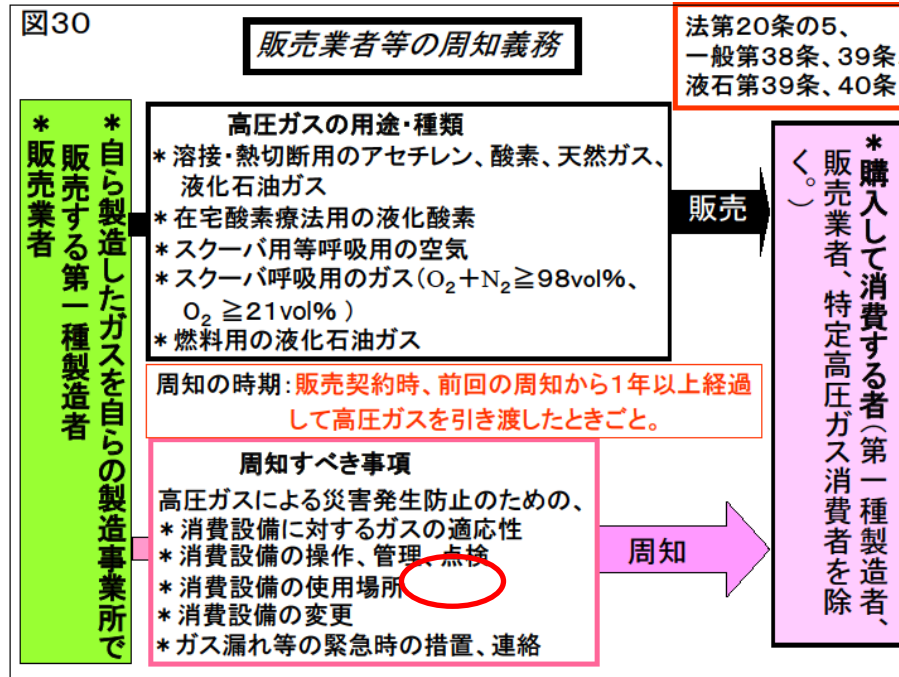
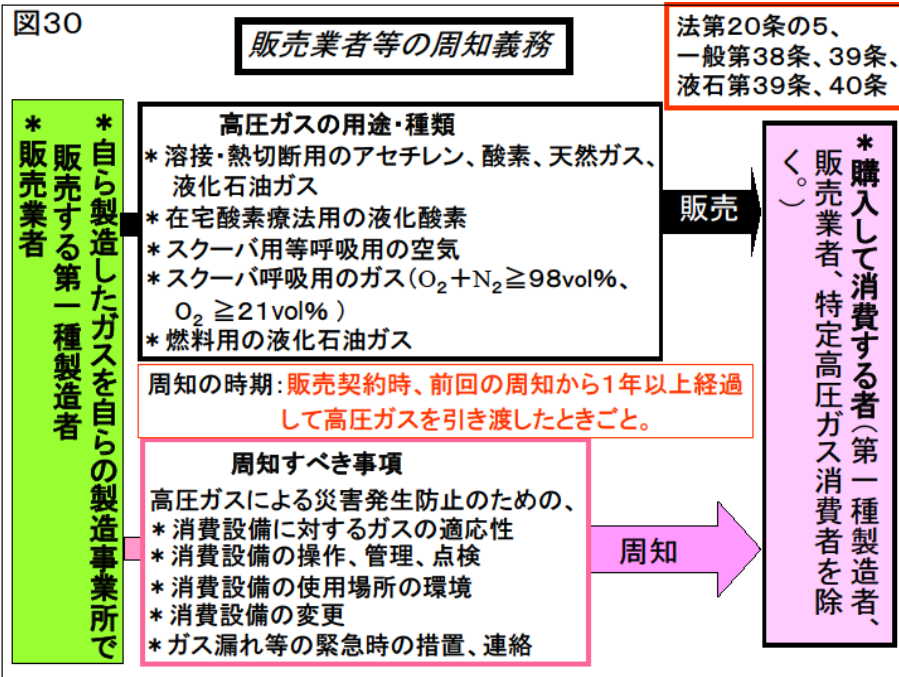
正	誤
<p>6 頁、図 8</p> <p>図8 高压ガスとは(1) 法第2条1、2号</p> <p>* 圧縮ガス〔()内数値は、圧縮アセチレンガス〕</p> <p>常用の温度がこの線の範囲内であればAガスは高压ガスとなる</p> <p>温度35(15)度で1(0.2)MPa以上となるのでBガスは高压ガスとなる</p> <p>これより高温部が常用の温度であれば、Cガスはこれより高温側で高压ガスとなる</p> <p>1(0.2)MPa未満のこの部分も高压ガスとなる</p> <p>常用の温度がこの線の範囲内であればDガスは高压ガスとはならない</p> <p>Y 35 (15) 温度(°C)</p> <p>* 常用の温度: 設備の使用過程において通常なりうる最高の温度 (容器の場合、常用の温度は圧縮水素運送自動車用容器(65°C)を除き、40°C)</p>	<p>6 頁、図 8</p> <p>図8 高压ガスとは(1) 法第2条1、2号</p> <p>* 圧縮ガス〔()内数値は、圧縮アセチレンガス〕</p> <p>常用の温度の範囲がこの線の範囲内であればAガスは高压ガスとなる</p> <p>温度35(15)度で1(0.2)MPa以上となるのでBガスは高压ガスとなる</p> <p>これより高温部が常用の温度の範囲内であれば、Cガスはこれより高温側で高压ガスとなる</p> <p>1(0.2)MPa未満のこの部分も高压ガスとなる</p> <p>常用の温度の範囲がこの線の範囲内であればDガスは高压ガスとはならない</p> <p>Y 35 (15) 温度(°C)</p> <p>* 常用の温度: 設備の使用過程において通常なりうる最高の温度 (容器の場合、常用の温度は圧縮水素運送自動車用容器(65°C)を除き、40°C)</p> <p>○ 「の範囲」を削除 (2カ所) □ 「の範囲内」を削除</p>



○ 「の範囲」を削除 (2カ所)

24頁、図30

24頁、図30



「の環境」が不足